

平成29年度

主要・新規事業等の概要



高 浜 市

目 次

一 般 会 計

2 款 総務費

- N o . 1 総合計画進行管理事業
(総合計画審議会委員報酬等)【新規】 3
- N o . 2 総合住民情報管理事業(地方公共団体情報システム機構負担金)
戸籍住民基本台帳事務事業(証明書コンビニ交付手数料等)【新規】・4
- N o . 3 防災活動事業(防災備蓄倉庫設置)【継続】 5
- N o . 4 市税賦課事業
(土地・家屋台帳履歴管理システム構築業務委託)【新規】 . . . 7
- N o . 5 市税等徴収事業(国税専門官賃金等)【新規】 8

3 款 民生費

- N o . 6 保育園管理運営事業
(仮称)たかとりこども園土地測量業務委託)【新規】 . . . 9
- N o . 7 放課後児童健全育成事業(児童クラブ業務委託)【継続】 . . . 11

4 款 衛生費

- N o . 8 水道事業会計繰出金(給水車整備事業繰出金)【新規】 . . . 13

7 款 商工費

- N o . 9 産業経済活性化事業(企業再投資促進補助)【継続】 15
- N o . 10 地方創生推進交付金事業
(コミュニティ・ビジネス創出支援業務委託等)【継続】 . . . 17

8 款 土木費

- N o . 11 建築総務事業(空家実態調査業務委託)【新規】 19

10 款 教育費

- N o . 12 小学校維持管理事業
(高浜小学校等整備事業設計・建設モニタリング業務委託)【新規】 . 21
- N o . 13 小学校維持管理事業
(高取小学校大規模改修基本計画策定業務委託)【新規】 . . . 23
- N o . 14 中学校維持管理事業(高浜中学校外壁等改修工事)【新規】 . . . 25
- N o . 15 青少年ホーム管理事業
(勤労青少年ホーム跡地活用支援業務委託)【継続】 27
- N o . 16 文化財保護事業(市誌編さん業務委託等)【継続】 29
- N o . 17 生涯スポーツ推進事業
(高浜芳川緑地多目的広場管理運営委託等)【新規】 31

介護保険特別会計(保険事業勘定)

4 款 地域支援事業費

- N o . 18 生活支援体制整備事業(生活支援体制整備事業委託)【新規】 . 32

第6次高浜市総合計画における体系別 主要・新規事業一覧

I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

- No. 1 総合計画進行管理事業（総合計画審議会委員報酬等）・・・3
- No. 2 総合住民情報管理事業（地方公共団体情報システム機構負担金）
戸籍住民基本台帳事務事業（証明書コンビニ交付手数料等）・・・4
- No. 4 市税賦課事業
（土地・家屋台帳履歴管理システム構築業務委託）・・・7
- No. 5 市税等徴収事業（国税専門官賃金等）・・・8
- No. 15 青少年ホーム管理事業
（勤労青少年ホーム跡地活用支援業務委託）・・・27

II 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

- No. 6 保育園管理運営事業
（（仮称）たかとりこども園土地測量業務委託）・・・9
- No. 7 放課後児童健全育成事業（児童クラブ業務委託）・・・11
- No. 12 小学校維持管理事業
（高浜小学校等整備事業設計・建設モニタリング業務委託）・・・21
- No. 13 小学校維持管理事業
（高取小学校大規模改修基本計画策定業務委託）・・・23
- No. 14 中学校維持管理事業（高浜中学校外壁等改修工事）・・・25
- No. 16 文化財保護事業（市誌編さん業務委託等）・・・29
- No. 17 生涯スポーツ推進事業
（高浜芳川緑地多目的広場管理運営委託等）・・・31

III 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

- No. 3 防災活動事業（防災備蓄倉庫設置）・・・5
- No. 8 水道事業会計繰出金（給水車整備事業繰出金）・・・13
- No. 9 産業経済活性化事業（企業再投資促進補助）・・・15
- No. 10 地方創生推進交付金事業
（コミュニティ・ビジネス創出支援業務委託等）・・・17
- No. 11 建築総務事業（空家実態調査業務委託）・・・19

IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

- No. 18 生活支援体制整備事業（生活支援体制整備事業委託）・・・32

主要・新規事業等

事業名等	総合計画進行管理事業（総合計画審議会委員報酬等）【新規】												
担当グループ	企画部総合政策グループ												
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう						個別目標	(1) まちへの想いを育み、 未来を切り開くチカラを高めます				
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費		項	01総務管理費		目	12企画費			
	事業名 02総合計画進行管理事業												
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<p>平成29年度は、第6次高浜市総合計画「中期基本計画」の最終年度であることから、基本構想の実現に向けて、平成30年度から33年度までのまちづくりの目標・目指すべき姿や、目標達成のための具体的な方策・手段を明確化した「後期基本計画」を策定し、社会経済情勢の変化等を踏まえ、新たな課題等に対応した市政運営を進める必要がある。</p>											
	目的（何のために）	<p>将来都市像「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」の実現に向け、時代の変化や新たな課題等に対応した「後期基本計画」を策定するため。</p>											
	対象（誰・何を対象に）	市民											
	事業内容（手段、手法など）	<p>総合計画を「みんなで考え、みんなで行動する計画」としていくためには、計画の策定段階から、多くの市民の意見・提案を取り入れて策定することが大切である。 市民参画の頂点組織である「高浜市総合計画審議会」をはじめ、市民の皆さんの声を広くお聞きするため、例えば「（仮称）課題解決ワールドカフェ」、「（仮称）ジャンル別ワールドカフェ」、「市民ヒアリング」、「市民意識調査／小・中学生アンケート」、「パブリックコメント」を実施するなど、多様な参画機会を創出し、市民とともにまちづくりの目標・課題・解決策といった情報を共有しながら策定を進めていく。</p>											
目指す成果（期待される効果）	<p>「後期基本計画」を策定することにより、今後の高浜市が目指すべき姿や、目指すべき姿の実現のために取り組むべき方策・手段を明確化することができ、持続可能な活力ある地域社会の構築、満足感・納得感の高い市政運営を行うことができる。 第7次総合計画の策定を見据え、多くの市民に参画いただくことで、まちづくりの担い手の裾野の広がりを期待できる。</p>												
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
	行政だけでなく市民の声を多く取り入れながら、後期基本計画を策定する。										平成30年1月		
平成29年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）									
	3,284 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			3,284		
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画審議会委員報酬 319千円 後期基本計画策定アドバイザー謝礼 250千円 消耗品費 162千円 印刷製本費 348千円 市民意識調査業務委託料 2,182千円 公共施設会場使用料 23千円 												
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	★審議会 施策構成(目標)の検証			★審議会 計画素案の検討、指標の検討			★審議会 最終案の検討 ★素案発表会・パブコメ ★新指標の現状値調査（必要に応じ）			★審議会より答申 ★議案上程			
	課題解決ワールドカフェ（月2回程度）										計画書の編集・デザイン		
予算書及び予算説明書該当ページ	109ページ												

主要・新規事業等

事業名等	総合住民情報管理事業（地方公共団体情報システム機構負担金） 戸籍住民基本台帳事務事業（証明書コンビニ交付手数料等）【新規】											
担当グループ	企画部総合政策グループ・市民総合窓口センター市民窓口グループ											
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう					個別目標	(2) 将来を見据えた計画的・効果的な 財政運営を行います				
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費		項	01総務管理費 03戸籍住民基本台帳費	目	14電算管理費 01戸籍住民基本台帳費			
	事業名 01総合住民情報管理事業・02戸籍住民基本台帳事務事業											
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	コンビニ交付は、マイナンバーカードを利用して、住民票の写し等の各種証明書がコンビニ等に設置されているキオスク端末で取得できるサービスである。全国のコンビニ等において住民票の写しなどの公的な証明書を取得できるため、住民の利便性向上が図られる。										
	目的（何のために）	コンビニ等が設置したキオスク端末の活用により、居住する市区町村の区域を越えて「どこでも」ワンストップで証明書等を受け取ることが可能となり、行政サービスをより一層効率的に提供することを目的とする。										
	対象（誰・何を対象に）	市民及び来訪者										
	事業内容（手段、手法など）	平成29年10月のサービス開始に向け、地方公共団体情報システム機構にコンビニ交付サービス申込書の申請を行い、各種設計の実施（システム設計、機器構成設計、ネットワーク設計、運用設計）を行う。また各種サーバの構築を行った後、地方公共団体の証明発行サーバからLGWANを経由して証明書交付センターシステムと連携するシステム確認試験と、障害発生時の連絡方法や手順等を確認する業務運用試験を行う。										
目指す成果（期待される効果）	コンビニ交付を行うことにより、その最大のメリットは生活圏域のコンビニで昼夜を問わず証明書の取得が可能となることから、在住者に限らず、在勤・在学等の生活状況に合った柔軟なタイミングでサービスの提供が可能となる。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	1. 市窓口での証明書交付件数の10%をコンビニ交付とする。 2. コンビニ交付サービスの利用に必要なマイナンバーカードの普及を図り、人口比率7%の交付を目指す。										1. 平成31年3月 2. 平成29年10月	
平成29年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	1,447 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
事業費積算内容	【総合政策グループ予算計上分】 総合住民情報管理事業（地方公共団体情報システム機構負担金） 1,219千円 【市民窓口グループ予算計上分】 戸籍住民基本台帳事務事業（特別旅費） 74千円 戸籍住民基本台帳事務事業（証明書コンビニ交付手数料） 154千円											
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業実施スケジュール	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	■サービス申込書の提出						■証明書コンビニ交付開始					
	システム設計・開発・導入											
	システム業者との調整											
						システム確認試験・業務運用試験						
予算書及び予算説明書該当ページ	111・121ページ											

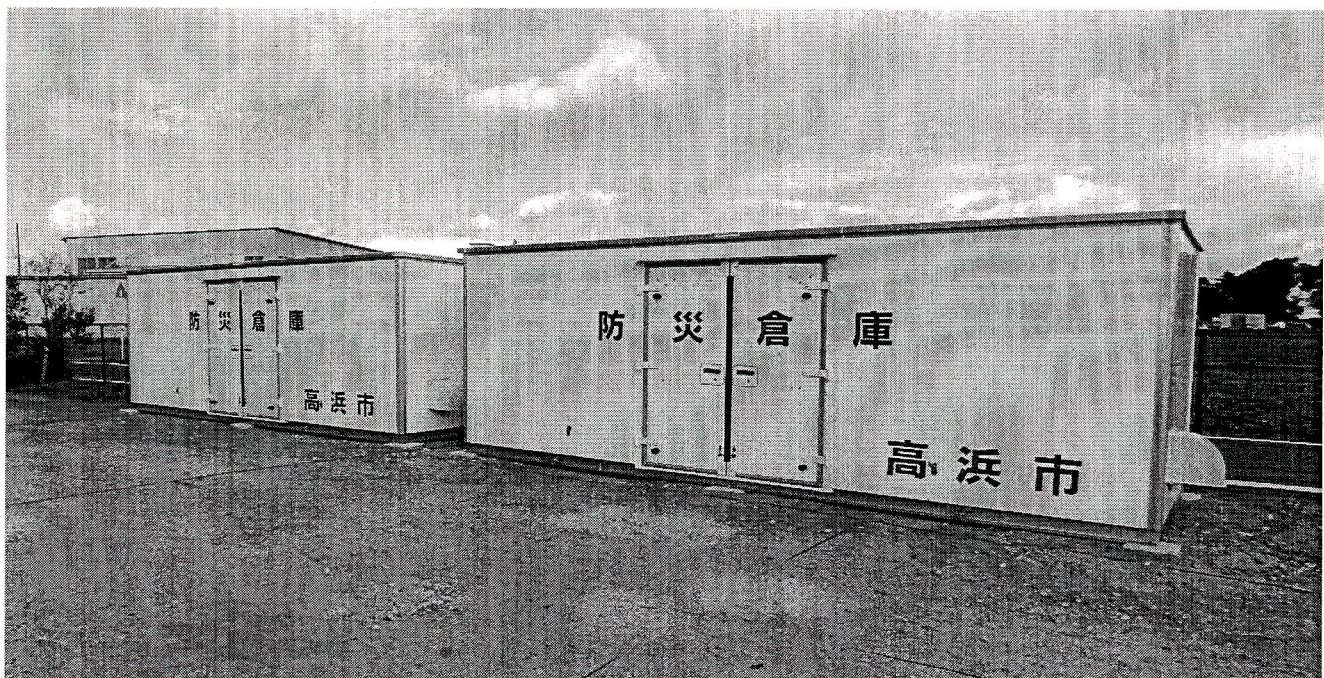
主要・新規事業等

事業名等		防災活動事業（防災備蓄倉庫設置）【継続】										
担当グループ		都市政策部都市防災グループ										
総合計画区分		基本目標 Ⅲ 明日を生み出すエネルギーやる気を活かせるまちをつくろう					個別目標 (9) 安全・安心が実感できる地域づくりを進めます					
予算区分		会計 一般会計		款 02総務費		項 01総務管理費		目 18防災対策費				
		事業名 01 防災活動事業										
アクションプラン		<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	避難所の中心となる小・中学校に防災備蓄倉庫を設置しているが、資機材等の整備・拡充に伴い、現在の規模では全てを保管することが困難な状況である。										
	目的（何のために）	必要な資機材等をまとめて保管できる防災備蓄倉庫を設置することで、災害時における避難所の設置及び運営等の迅速化を図るため（平成27年度より3カ年計画）										
	対象（誰・何を対象に）	避難者等										
	事業内容（手段、手法など）	（設置場所） 平成27年度：高浜小学校、翼小学校 平成28年度：吉浜小学校、南中学校 平成29年度：高取小学校、港小学校、高浜中学校 （設置基数） 各校2基 （規格） 幅6m×奥行2m×高さ2m										
目指す成果（期待される効果）		災害時に、防災備蓄倉庫の資機材等を活用し、迅速な避難所の設置及び運営を図ることで、避難者の安定した避難生活が確保されている。										
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）	
		各校2基×7施設									平成30年3月	
平成29年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）								
	14,208 千円			国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源
					3,024						11,184	
事業費積算内容		防災備蓄倉庫一式 2,368千円×6基=14,208千円										
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール		● 関係者と設置場所の調整			● 契約準備・締結			● 納品・設置				
予算書及び予算説明書該当ページ			115ページ									

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 27 年度 ～ 平成 28 年度	総事業費	17,194千円		
これまでの主な取組と成果	<p>平成27年度より、3カ年計画により防災備蓄倉庫の設置を進めている。 防災備蓄倉庫の設置により、これまで分散して保管していた資機材等を一括して保管・管理できるようになり、災害時における避難所設置等での迅速な対応が可能となった。 また、平成27年度に設置した高浜小学校や翼小学校では、平成28年9月に実施した高浜市総合防災訓練において、地域住民による倉庫内の資機材等の確認や組立て訓練なども行われている。</p>				
平成28年度 (予算)	取組内容	吉浜小学校及び南中学校に、防災備蓄倉庫（各校2基）を設置した。			
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）			
	8,640 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
	8,640 千円	2,460			6,180
主な経費	防災備蓄倉庫一式 2,160千円×4基=8,640千円				
平成27年度 (決算)	取組内容	高浜小学校及び翼小学校に、防災備蓄倉庫（各校2基）を設置した。			
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）			
	8,554 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
	8,554 千円	2,592			5,962
主な経費	防災備蓄倉庫一式 2,138,400円×4基=8,553,600円				

資 料 等（位置図等）



翼小学校（平成27年度設置）

主要・新規事業等

主要・新規事業等																									
事業名等		市税賦課事業（土地・家屋台帳履歴管理システム構築業務委託）【新規】																							
担当グループ		市民総合窓口センター税務グループ																							
総合計画区分		基本目標 I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう				個別目標		(2) 将来を見据えた計画的・効果的な財政運営を行います																	
予算区分		会計 一般会計		款 02総務費		項 02徴税费		目 01賦課徴収費																	
		事業名 02市税賦課事業																							
アクションプラン		□該当する ■該当しない																							
事業概要	事業の必要性・実施の背景	土地・家屋台帳の閲覧業務は、市民窓口サービスの一環として過去から行っているもので、登記情報（税通）を基に追記し、手数料を徴収して来庁者の閲覧に供している。記載情報としては、明治、大正からの和紙で引き継がれているものが多く、紙として耐用年数も限界を迎えている。また、追記は現行、大量の手書きであり、費用対効果の観点からも効率化する必要がある。																							
	目的（何のために）	劣化する紙の閲覧・追記から電子的閲覧・追記へと効率化する。																							
	対象（誰・何を対象に）	窓口来庁者及び職員等の閲覧者																							
	事業内容（手段、手法など）	台帳そのものの電子保存化を行い、同時に閲覧・追記システムを構築する。法務局からの電子データを直接システムに取り込むことにより、追記作業の必要がなくなり、作業人件費の抑制が図れるとともに、人為的ミスが無くなる。また、永久に増え続ける固定資産情報（永年保存）を今後、省スペースにて管理することができる。																							
目指す成果（期待される効果）		<ol style="list-style-type: none"> 1. 電子化により提供する情報の更新が早くなり、来庁者閲覧サービスの質を向上できる。 2. パソコンの物件検索機能により、すぐに情報を取得できる。 3. 電子化することにより経費削減ができる。 4. 事務作業の効率化ができる。 																							
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）														
		システム構築により、来庁者閲覧サービス向上及び更新作業効率化を図り、安定した運用を行う。									平成30年3月														
平成29年度		事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）																				
		12,249 千円			国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源												
													12,249												
事業費積算内容		○13節 土地・家屋台帳履歴管理システム構築業務委託料 12,249千円 ・土地家屋台帳履歴管理システム構築 ・Web版土地・家屋台帳履歴管理システム構築及びセットアップ費 ・サーバー等関連機器導入費 ①H27税通件数 4,783件 ②H27窓口台帳閲覧件数 531件																							
平成29年度		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期											
事業実施スケジュール								・電子データ変換 ・台帳電子化		・システム構築				・運用開始											
予算書及び予算説明書該当ページ		119ページ																							

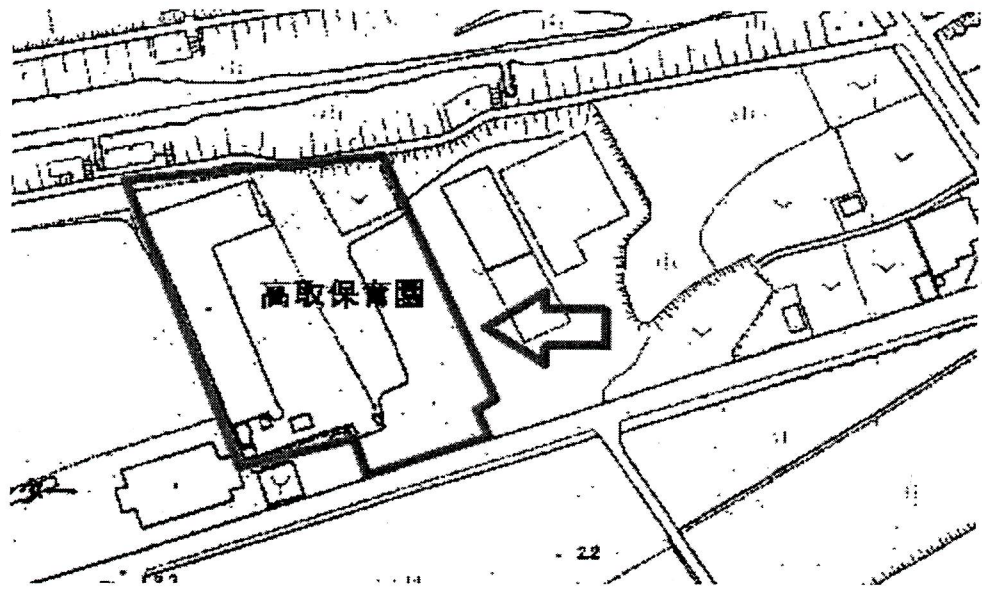
主要・新規事業等

主要・新規事業等												
事業名等		市税等徴収事業（国税専門官賃金等）【新規】										
担当グループ		市民総合窓口センター税務グループ										
総合計画区分		基本目標 I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう					個別目標 (2) 将来を見据えた計画的・効果的な財政運営を行います					
予算区分		会計 一般会計		款 02総務費		項 02徴税费		目 01賦課徴収費				
		事業名 03市税等徴収事業										
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<p>今後滞納整理を強化していく上で、より徴収困難な案件への対処は必要不可欠である。しかし、収納担当間で困難案件に対処できる人員には限りがあり、現在は滞納整理機構へ依存している部分が多い。滞納整理機構が今後も継続していく可能性は不透明なため、機構へ依存しなくとも収納担当全体で困難案件に対処できる体制を整備する必要がある。</p>										
	目的（何のために）	<p>滞納整理について法的知識とその運用方法を持つ専門職員を導入し、滞納整理機構経験職員と連携して収納担当全体のスキルアップを図る。</p>										
	対象（誰・何を対象に）	職員・市民										
	事業内容（手段、手法など）	<p>高度な法的知識と運用方法を持つ国税OBを導入し、滞納整理担当兼アドバイザーとして徴収率と収納担当全体のスキルアップを図る。</p>										
目指す成果（期待される効果）		<p>滞納整理専門職員として、徴収専門に業務を行うことで徴収率が向上する。困難案件に対処するためのアドバイザーとして法的知識や運用方法を共有し、収納経験の浅い職員でも多様な案件に対処することができる。</p>										
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）	
		不動産公売など、より高度な滞納整理に職員全員が対応できる体制整備									平成30年3月	
平成29年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）								
	4,263 千円			国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源
									14		4,249	
事業費積算内容		賃金3,652千円 社会保険料570千円 雇用保険料41千円										
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ・国税OB導入 → </div>										
予算書及び予算説明書該当ページ		119ページ										

主要・新規事業等

事業名等	保育園管理運営事業（（仮称）たかとりこども園土地測量業務委託）【新規】													
担当グループ	こども未来部こども育成グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(5) 地域ぐるみで子育て・子育てを支えます					
予算区分	会計	一般会計	款	03民生費	項	02児童福祉費	目	02保育サービス費						
	事業名 02保育園管理運営事業													
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児で待機児童が発生している。 ・保育園は入園希望者が定員を上回っているが、公立幼稚園では定員割れが続いている。 												
	目的（何のために）	<ul style="list-style-type: none"> ・安心してこどもを産み、育てられるよう、保育ニーズに対応した子育て環境を整える。 												
	対象（誰・何を対象に）	就学前の児童及びその家族												
	事業内容（手段、手法など）	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園整備に向け、建設用地（市有地）の測量を実施する。 ・公募により決定した民間事業者が認定こども園を整備する。 ・市及び国が整備費用の3/4を補助する。（国費1/2, 市費1/4） ・新園舎完成後に、市は高取幼稚園、高取保育園を廃止する。 												
目指す成果（期待される効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・安心してこどもを産み、育てられるような、保育ニーズに対応した子育て環境が進む。 ・民間法人の運営により、保育サービスの充実が図られる。 													
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）			
	こども園整備に向け、建設用地（市有地）の測量を実施し、敷地を確定する。										平成29年6月			
平成29年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）										
	1,110 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			1,110			
事業費積算内容	土地測量費 1,110千円													
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	← 測量 →		← 実施設計 →			← 開発申請 →			← 造成工事 →			← 基礎工事 →		
予算書及び予算説明書該当ページ	151ページ													

資料等(位置図等)



主要・新規事業等

事業名等		放課後児童健全育成事業（児童クラブ業務委託）【継続】										
担当グループ		こども未来部こども育成グループ										
総合計画区分		基本目標 II 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標 (5) 地域ぐるみで子育て・子育てを支えます					
予算区分		会計 一般会計		款 03民生費		項 02児童福祉費		目 03家庭支援費				
		事業名 10放課後児童健全育成事業										
アクションプラン		<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<ul style="list-style-type: none"> 吉浜小学校区での児童クラブの利用希望が多い。 放課後居場所事業やセンターキッズ事業の利用により、対応している。 										
	目的（何のために）	<ul style="list-style-type: none"> 児童の就学を機に就労時間等変更せず、安心して子どもを育てられる環境を整える。 										
	対象（誰・何を対象に）	吉浜小学校区の昼間保護者のいない小学校1～6年生の児童										
	事業内容（手段、手法など）	<ul style="list-style-type: none"> 吉浜児童センター内に、（仮称）吉浜第2児童クラブを設け、吉浜小学校区の児童クラブの定員を20名増員する。 										
目指す成果（期待される効果）		<ul style="list-style-type: none"> 児童の就学を機に就労時間等変更せず、安心して子どもを育てられる環境が進む。 										
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）	
		吉浜児童センター内に、（仮称）吉浜第2児童クラブを設け、吉浜小学校区の児童クラブの定員を20名増員する。									平成29年4月	
平成29年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）								
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
38,893 千円			9,064	9,064		10,543	10,222					
事業費積算内容		<ul style="list-style-type: none"> 児童クラブ業務委託料 38,893千円（うち吉浜第2児童クラブ分 3,833千円） 										
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	事業運営 ←											
	→											
予算書及び予算説明書該当ページ			157ページ									

これまでの主な取組と成果

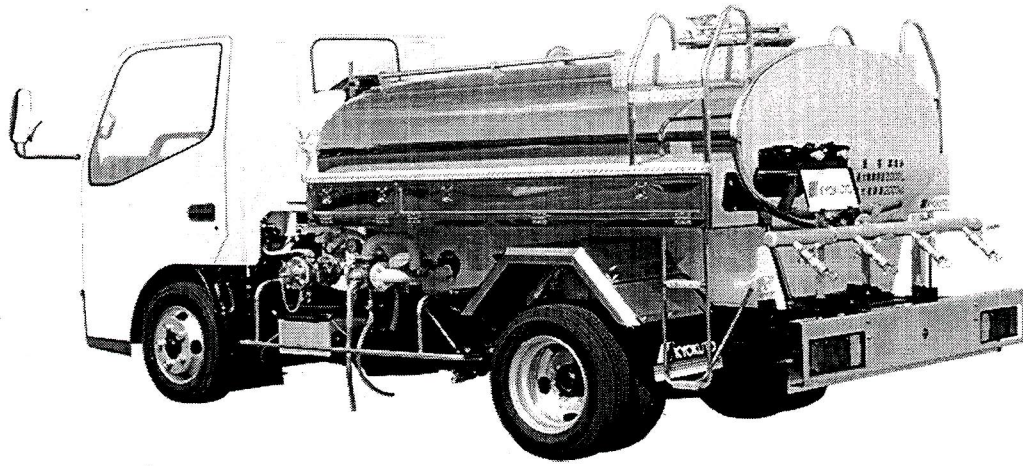
事業年度	平成 13 年度 ～ 平成 28 年度	総事業費	353,312千円			
これまでの 主な取組 と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内7か所の児童クラブを運営している。公設公営の翼児童クラブ及び東海児童クラブの運営の一部をシルバー人材センターに委託している。公設民営の高取児童クラブの運営をシルバー人材センターに、楽習館児童クラブの運営をNPO法人全世代楽習塾に委託している。民設民営の中央児童クラブの運営を社会福祉協議会に、吉浜児童クラブの運営を知多学園に、ひこうきぐも児童クラブの運営を清心会に委託している。 ・平成24年度から全小学校の校庭で開始した放課後居場所事業や平成27年度より児童センター等で開始したセンターキッズ事業とも連携し、小学生の放課後等の居場所を拡充した。 					
平成28年度 (予算)	取組内容	市内7か所の児童クラブのうち、高取児童クラブ、楽習館児童クラブ、中央児童クラブ、吉浜児童クラブ、ひこうきぐも児童クラブの5クラブと翼児童クラブ及び東海児童クラブの運営の一部を民間に委託し、運営した。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	33,705 千円	7,799	7,799		10,661	7,446
主な 経費	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ業務委託料 33,705千円 (うち吉浜児童クラブ分 5,215千円) 					
平成27年度 (決算)	取組内容	市内7か所の児童クラブのうち、高取児童クラブ、楽習館児童クラブ、中央児童クラブ、吉浜児童クラブ、ひこうきぐも児童クラブの5クラブと翼児童クラブ及び東海児童クラブの運営の一部を民間に委託し、運営した。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	31,103 千円	7,766	7,766		10,447	5,124
主な 経費	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ業務委託料 31,103千円 (うち吉浜児童クラブ分 4,500千円) 					

主要・新規事業等

事業名等		水道事業会計繰出金（給水車整備事業繰出金）【新規】										
担当グループ		都市政策部上下水道グループ										
総合計画区分		基本目標 Ⅲ 明日を生み出すエネルギーやる気を活かせるまちをつくろう					個別目標 (8) ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくります					
予算区分		会計 一般会計		款 04衛生費		項 01保健衛生費		目 07上水道費				
		事業名 01水道事業会計繰出金										
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	災害時や配水場、配水管路の事故発生時の対応として、タンクが車両一体である加圧給水車の購入を水道事業において当初予算計上をしている。給水タンクの運搬車両の確保や積み込み作業がなくなり迅速に対応ができる。また、加圧給水車であれば、学校や病院などにある受水槽にも給水が行え、より効率的に対応ができる。										
	目的（何のために）	災害や配水事故などによる断水時において、すみやかに飲料水を運搬・供給するため。										
	対象（誰・何を対象に）	市民										
	事業内容（手段、手法など）	加圧給水車を購入費する。 ※購入費負担割合（一般会計1/3、水道事業2/3）										
目指す成果（期待される効果）		応急給水の迅速な対応が出来るようになる。										
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）	
		加圧給水車を配備する。									平成30年2月	
平成29年度	事業費（経費）		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
	5,231 千円										5,231	
事業費積算内容		加圧給水車の購入 有効内容量 1700L ベース車両2t 車両価格 15,694千円 繰出額（1/3） 5,231千円										
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール				●入札							●納車	
予算書及び予算説明書該当ページ			171ページ									

資料等(位置図等)

イメージ写真



主要・新規事業等

主要・新規事業等													
事業名等		産業経済活性化事業（企業再投資促進補助）【継続】											
担当グループ		都市政策部企業支援グループ											
総合計画区分		基本 目標	Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう					個別 目標	(6) 産業を活性化して、 まちを元気にします				
予算区分		会計	一般会計		款	07商工費		項	01商工費		目	02商工業振興費	
		事業名 05産業経済活性化事業											
アクションプラン		<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・ 実施の背景	円高やリーマンショックに端を発する景気の後退により、産業の空洞化や雇用不安の懸念が高まる中、雇用の確保や財政の安定を図るためには、産業の活性化が必要であることから、投資意欲を高めるための財政支援を行い、産業空洞化対策を図る。											
	目的 (何のために)	産業空洞化に対応するため、愛知県の補助制度の受け皿となる「高浜市企業再投資促進補助金交付要綱」により、市内企業の他地域への設備投資の防止、企業の経営基盤の強化による雇用の維持拡大、税込確保による財政基盤の強化を図るため。											
	対象 (誰・何を対象に)	企業再投資促進補助金は、原則20年以上、工場が高浜市内に立地する企業で、工場の新増設や新たなライン設備等を設置する法人											
	事業内容 (手段、手法など)	【対象分野】 次世代自動車関連分野、他7分野 【対象要件】 投資要件：大企業25億円以上 中小企業1億円以上 雇用要件：補助金交付期間中において、以下の常用雇用者数を維持すること 大企業100人以上 中小企業25人以上 など 【対象経費】 土地を除く固定資産取得費用（建物及び償却資産） 【補助率】 大企業3%以内 中小企業6%以内（うち愛知県3%以内） 【限度額】 大企業2,500万円 中小企業5,000万円											
	目指す成果 (期待される効果)	企業による本市への設備投資により、企業の経営基盤の強化が図られ、雇用を維持拡大するとともに、本市の安定的な税収確保につながり、財政基盤の強化が図られる。											
目標設定 (なるべく定量的な 目標値を記入)	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
	流出防止を図った企業に対し、経営状況、雇用状況などを確認するため、愛知県とともに企業訪問を実施し、企業の更なる経営基盤の強化、雇用の維持拡大を促す。										平成35年3月		
平成29年度	事業費（経費）					財源内訳（単位：千円）							
						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
110,436 千円					55,217					55,219			
事業費 積算内容		平成28年度愛知県新あいち創造産業立地補助金審査会付議・採択企業（中小企業・製造業） 【投資金額】 1,840,619千円 【補助金額】 1,840,619千円×6%≒110,436千円 【歳入】 1,840,619千円×3%≒ 55,217千円（県支出金）											
平成29年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		第1四半期				第2四半期			第3四半期			第4四半期	
事業実施 スケジュール		補助金申請受付支払手続き											
		←		→									
予算書及び予算説明書該当ページ				187ページ									

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 25 年度 ～ 平成 28 年度	総事業費	171,569千円			
これまでの 主な取組 と成果	<p>本制度を促したことにより、企業5社の設備投資に対する流出防止が図られ、約36億円の新たな設備投資、約820人の雇用の維持拡大を図ることができた。</p>					
平成28年度 (予算)	取組内容	3社の企業の再投資計画を認定し、1社の企業の再投資に対して補助金を交付する。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
	16,770 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			8,385			8,385
主な 経費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業再投資促進補助金 16,770千円 					
平成27年度 (決算)	取組内容	1社の企業の再投資計画を認定し、3社の企業の再投資に対して補助金を交付した。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
	139,901 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			69,950			69,951
主な 経費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業再投資促進補助金 139,901千円 					

主要・新規事業等

事業名等		地方創生推進交付金事業 (コミュニティ・ビジネス創出支援業務委託等) 【継続】																																		
担当グループ		都市政策部地域産業グループ																																		
総合計画区分		基本目標 Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう					個別目標 (6) 産業を活性化して、 まちを元気にします																													
予算区分		会計 一般会計		款 07商工費		項 01商工費		目 02商工業振興費																												
		事業名 10地方創生推進交付金事業																																		
アクションプラン		<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない																																		
事業概要	事業の必要性・実施の背景	必ず訪れる超高齢化や人口減少に立ち向かうためには、若年層の人口流出を是正し、市税収入や経済消費を支える生産年齢人口を維持していくことが大切である。そのためには、地域資源を活かし、産業を活性化することで、まち・ひと・しごと創出の好循環を作り出す必要がある。																																		
	目的 (何のために)	高浜市の「働く」「モノづくり」などのいろいろなモノ・コトをヒトで繋げ、高浜市のミライ(産業の活性化や雇用の創出、まちの魅力、市民のまちに対する愛着・誇りの創出)に向かって「しごと」が「ひと」を呼び「ひと」が「しごと」を呼びこむ循環を確立する。																																		
	対象 (誰・何を対象に)	全てのひと																																		
	事業内容 (手段、手法など)	高校生レストランの仕掛人である岸川政之氏の支援を受け、高浜高校生8名が集まった。高校生等が、地域の課題をビジネス手法を用いて解決するコミュニティ・ビジネスにチャレンジするとともに、地域組織、企業、団体の様々な機関と連携をしながら地域の資源を活用したビジネスにチャレンジする。平成28年度に取組み内容のオリジナルたい焼き型(仮称)販売を全国のSBP実施校へ展開する。																																		
目指す成果 (期待される効果)		地域のしごと創生(特に若い世代)に寄与するとともに、将来の高浜市を担う地方創生人材の育成(地方への人の流れ)、若者雇用対策(働き方改革)、まちの賑わい(まちづくり)の創出にも寄与する。加えて、一億総活躍社会の実現を目指すべく、高校生から始まる「希望を生み出す強い経済」の創出、「子育て支援」にもつながる。																																		
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)		目標 (何をどのようにする)									達成時期 (いつまでに)																									
		オリジナルたい焼き型(仮称)の受注数6か所 高校生、市、関連団体の事業への取組を周知するためのテレビ出演1回									平成31年3月																									
平成29年度	事業費(経費)		財源内訳(単位:千円)																																	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																													
		10,790 千円		4,379						6,411																										
事業費積算内容		報償費 29千円		旅費 189千円		消耗品・燃料費 159千円		保険料 5千円		委託料 7,744千円			有料道路通行料 150千円																							
		自動車借上料 1,014千円		交付金 1,500千円																																
平成29年度	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	第1四半期						第2四半期						第3四半期						第4四半期																	
事業実施スケジュール		←																								→										
		SBP活動支援																																		
		←																								→										
		コミュニティビジネスチャレンジャー発掘及び個別支援																																		
予算書及び予算説明書該当ページ		187ページ																																		

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 28 年度	総事業費	24,676千円			
これまでの主な取組と成果	①高浜高校生に対してSBP（ソーシャル・ビジネス・プロジェクト）参加を呼びかけた結果、8名の高校生が集まり、地域資源を活用し、ビジネス手法を用いた活動を展開した。					
平成28年度 (予算)	取組内容	高浜高校生に対して、SBP参加を呼びかけ、8名の高校生が集まった。高校生のデザインを、地場産業である鬼師さんの技術により立体化（種型）し、同じく地場産業である自動車産業の最先端技術を用い、その種型を基に金型の製作に取り組んだ。社会起業家については、3名に対し個別支援を展開した。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	24,676 千円	24,676				
主な経費	平成27年度繰越明許費 《商工費 18,176千円》委託料 17,176千円、庁用器具費 1,000千円 《教育費 6,500千円》委託料 6,500千円					

資 料 等 (位置図等)



鬼師さんの作成した種型



全国SBP交流フェア



種型を基にした試作品



プレゼンの様子

主要・新規事業等

主要・新規事業等													
事業名等		建築総務事業（空家実態調査業務委託）【新規】											
担当グループ		都市政策部都市防災グループ											
総合計画区分		基本目標 Ⅲ 明日を生み出すエネルギーやる気を活かせるまちをつくろう					個別目標 (8) ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくります						
予算区分		会計 一般会計		款 08土木費		項 07建築費		目 01建築総務費					
		事業名 01建築総務事業											
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	適切な管理が行われていない空家の存在が、防災、衛生、景観などの面から地域の生活環境に影響を及ぼしており、平成27年5月に施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」において、市町村の責務として「空家等対策計画」の策定に努め、空家対策に取り組むこととされた。計画の策定や具体的な対策を検討していく上で、空家の現状把握が必要となる。											
	目的（何のために）	空家の現状把握に努め、計画に基づき必要な対策を講じていくことで、市民一人ひとりが安心して暮らすことのできる生活環境を確保するため											
	対象（誰・何を対象に）	市内の建築物											
	事業内容（手段、手法など）	以下の基準に基づき、実態調査を実施する。 ①郵便受けにチラシやDMが大量につまっている。 ②窓ガラスが割れたまま、カーテンが無い、家具が無い。 ③門から玄関まで草が生えていて出入りしている様子がない。 ④売り、貸し物件の表示がある。 ⑤電気メーターが動いていない。											
目指す成果（期待される効果）		空家の現状を把握することで、市民からの相談や苦情等に対し、迅速に対応できている。また、実態調査及び計画に基づく空家対策の推進により、市内の空家が適正に管理されている。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）								達成時期（いつまでに）			
		空家の現状及び対策等を定めた「空家等対策計画」の策定								平成31年3月			
平成29年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）									
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
784 千円			391					393					
事業費積算内容		<ul style="list-style-type: none"> 空家実態調査業務委託料 784千円 											
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール		●———● 契約準備・締結			●———● 実態調査・地図作成								
予算書及び予算説明書該当ページ			201ページ										

主要・新規事業等

事業名等		小学校維持管理事業 (高浜小学校等整備事業設計・建設モニタリング業務委託)【新規】										
担当グループ		教育委員会学校経営グループ										
総合計画区分		基本目標 II 学び合い力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標 (4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分		会計 一般会計		款 10教育費		項 02小学校費		目 01学校管理費				
事業名		01小学校維持管理事業										
アクションプラン		<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<p>◇老朽化が進む公共施設の今後の建替えや大規模修繕に対応すべく、白書から見えてきた公共施設の現状と課題に基づき、今後40年間にわたる公共施設に係る費用を予測し、限られた財源・資産を有効に活用する必要がある。本事業が公共施設のあり方のモデルとなるよう、学校を核として他の公共施設の複合化・集約化を進める必要がある。</p>										
	目的(何のために)	<p>★将来の公共施設の更新や大規模改修に必要な費用を把握し、長寿命化や施設機能の集約等により、サービス水準を低下させずに、公共施設の総量を圧縮するため。 ★高浜小学校を多様な学習環境への対応や、地域での多目的活用を含めた変化へ柔軟に対応できる学校施設に整備するため。</p>										
	対象(誰・何を対象に)	市民										
	事業内容(手段、手法など)	<p>【事業内容】平成30年3月までに ◆高浜小学校の基本設計・実施設計、工事着手 (1) 教職員等を交えたワークショップの開催 (2) 基本設計、実施設計にかかる協議を事業者と行う。 (3) 工事着手</p> <p>【手段・手法】 ◆高浜小学校等整備事業に係る支援業務を委託し、事業者との調整等を円滑に実施する。</p>										
目指す成果(期待される効果)	<p>☆公共施設総合管理計画及びこれを踏まえた長期財政計画に基づき、公共施設の計画的な更新・大規模改修等が行われ、安定的な財政運営が行われている。 ☆公共施設総合管理計画の複合化施設のモデルとなる高浜小学校の整備が実現することで、市民に今後の公共施設のあり方に対する関心が高まるとともに、問題意識が共有できている。</p>											
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)	
	平成30年1月からの校舎棟の工事着工に向け、関係者との調整を図りながら、基本設計・実施設計をスケジュール通りに実施する。										平成30年3月	
平成29年度	事業費(経費)		財源内訳(単位:千円)									
	15,034千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
											15,034	
事業費積算内容	高浜小学校等整備事業設計・建設モニタリング業務委託料 15,034千円											
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	基本設計・実施設計									建設工事(校舎棟)		
予算書及び予算説明書該当ページ		213ページ										

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 26 年度 ～ 平成 28 年度	総事業費	30,953千円			
これまでの 主な取組 と成果	<p>平成26年度は、市職員と教職員とで、各教室・諸室の必要性や他市の複合化事例を情報共有し、複合化施設の検討を行ったり、市民を交えたワークショップを開催し、情報共有や提供サービスの検討を行ったりした。平成27年度からは、事業者募集に向けた事業条件の整理作業を進め、平成28年度に事業者の選定を行った。</p>					
平成28年度 (予算)	取組内容	事業者募集を開始し、事業者説明会を実施するとともに、事業者選定委員会を設置し、事業者からの提案の評価・選定作業を進めた。そして、選定された事業者との事業契約を締結する。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,213 千円					14,213
主な 経費	高浜小学校等整備事業支援業務委託料 14,213千円					
平成27年度 (決算)	取組内容	事業者募集を行うため、事業条件を整理し基本計画を策定するとともに、実施方針・要求水準書の作成に向けた検討を行った。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	16,740 千円					16,740
主な 経費	高浜小学校等整備事業支援業務委託料 16,740千円					

主要・新規事業等

事業名等													小学校維持管理事業 (高取小学校大規模改修基本計画策定業務委託) 【新規】																							
担当グループ													教育委員会学校経営グループ																							
総合計画区分													基本目標 II 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう						個別目標 (4) 学校・家庭・地域が連携を深め、 12年間の学びや育ちをつなげます																	
予算区分													会計 一般会計		款 10教育費		項 02小学校費		目 01学校管理費		事業名 01小学校維持管理事業															
アクションプラン													<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない																							
事業概要	事業の必要性・実施の背景													高取小学校校舎は公共施設総合管理計画に基づいて平成31・32年度に大規模改修工事が予定されており、より効果的に校舎の将来の建替えまでの延命化を図るために基本計画を策定する必要がある。																						
	目的 (何のために)													高取小学校校舎の外壁及び内部施設の老朽化は著しく、児童の授業等に支障を来しているため、安全かつ快適な学習環境を整備する。																						
	対象 (誰・何を対象に)													高取小学校の児童及び教職員等																						
	事業内容 (手段、手法など)													【事業内容】 ①校舎の現地調査 ②現行法令への適合性の確認 (建築基準法・消防法等) ③基本計画の作成 ④工事方法の検討 ⑤概算予算の算出 ⑥報告書の提出																						
目指す成果 (期待される効果)													1. 外壁の補修等を図るとともに、施設内部の改修により、安全で快適な学習環境が保持できる。 2. 高取小学校校舎の劣化を抑えることにより、延命化を図ることができる。																							
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)													目標 (何をどのようにする)						達成時期 (いつまでに)																	
													平成31・32年度に実施する大規模改修に係る工事内容及び概算予算を把握する。						平成30年3月																	
平成29年度													事業費 (経費)			財源内訳 (単位: 千円)																				
													4,961 千円			国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源												
																						4,961														
事業費積算内容													【事業費の積算内容】 ①校舎の現地調査 ②現行法令への適合性の確認 (建築基準法・消防法等) ③基本計画の作成 ④工事方法の検討 ⑤概算予算の算出 ⑥報告書の提出																							
平成29年度													4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
													第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期											
事業実施スケジュール																																				
予算書及び予算説明書該当ページ													213ページ																							

主要・新規事業等

主要・新規事業等												
事業名等		中学校維持管理事業（高浜中学校外壁等改修工事）【新規】										
担当グループ		教育委員会学校経営グループ										
総合計画区分		基本目標 II 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標 (4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分		会計 一般会計		款 10教育費		項 03中学校費		目 01学校管理費				
		事業名 02中学校維持管理事業										
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	高浜中学校校舎は公共施設総合管理計画に基づいた大規模改修を平成35年度から予定しているが、老朽化の進行が加速化していることから外壁等の改修工事を前倒して実施することにより、校舎の延命化を図る必要がある。										
	目的（何のために）	高浜中学校校舎は外壁の剥落や雨漏りなど劣化が著しく、生徒の授業等に悪影響を与えているため、早急に安全かつ快適な学習環境を整備する。										
	対象（誰・何を対象に）	高浜中学校の生徒及び教職員等										
	事業内容（手段、手法など）	【事業内容】 ①平成29年度→南棟・東渡り・西渡り ②平成30年度→北棟 いずれも校舎の外壁及び屋上を補修し、防水改修・塗装改修を施す。										
目指す成果（期待される効果）		1. 外壁の剥落や天井からの雨水侵入を防ぎ、安全・快適な生徒の学習環境が保持できる。 2. 高浜中学校校舎の劣化が抑えられ、延命化を図ることができる。										
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）	
		校舎外壁の亀裂を修繕し、天井部分には防水処理を施す。									平成31年3月	
平成29年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）								
	53,322 千円			国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源
事業費積算内容		高浜中学校校舎（北棟・南棟・東渡り・西渡り） 1. 仮設工事 2. 外壁防水改修工事 3. 屋上防水改修工事 4. 塗装改修工事										
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール		<div style="text-align: center;"> </div>										
予算書及び予算説明書該当ページ			219ページ									

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 28 年度	総事業費	11,506千円			
これまでの 主な取組 と成果	高浜中学校校舎で雨漏りが甚だしかった南棟北面と西階段の壁面について防水塗装工事を実施し、雨漏り及び外壁剥落を防ぐことができた。 また、平成29・30年度に実施する外壁等改修工事に係る実施設計業務を委託した。					
平成28年度 (予算)	取組内容	高浜中学校の南棟北面と西階段の壁面について、亀裂等を補修し、防水塗装を施工した。 平成29・30年度に実施する外壁等改修工事に係る実施設計業務を委託した。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,506 千円					11,506
主な 経費	<ul style="list-style-type: none"> ・高浜中学校南校舎北面・西階段防水塗装工事費 8,806千円 ・高浜中学校外壁等改修工事実施設計業務委託料 2,700千円 					

主要・新規事業等

事業名等	青少年ホーム管理事業（勤労青少年ホーム跡地活用支援業務委託）【継続】											
担当グループ	こども未来部文化スポーツグループ・総務部行政グループ											
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう					個別目標	(2) 将来を見据えた計画的・効率的な財政運営を行います				
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	05社会教育費	目	04青少年育成・活動支援費				
	事業名 03青少年ホーム管理事業											
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	平成27年度に策定した「公共施設総合管理計画」では、今後の社会情勢や景気の動向は、さらに厳しい財政状況が見込まれることを踏まえ、施設の総量圧縮により生じた未利用資産については、資産の売却や貸付などの方法について検討するとしている。勤労青少年ホームについては、機能移転や民間譲渡等を行う計画としていることから、これにより生じる跡地活用についての具体的な検討を進める必要がある。										
	目的（何のために）	機能移転を進める勤労青少年ホームの跡地について、民間活力の導入により、プール等を含むスポーツ拠点施設を整備することで、スポーツ振興及び市の財政負担を可能な限り節減を図る。										
	対象（誰・何を対象に）	市民										
	事業内容（手段、手法など）	【事業内容】平成30年3月までに ◆勤労青少年ホーム跡地活用整備事業者の選定 (1) 募集資料の作成・公表及び質問回答対応 (2) 提案事業者向け説明会の開催 (3) 事業者の評価・選定 (4) 契約締結交渉 【手段・手法】 ◆勤労青少年ホーム跡地活用整備事業者を選定するため、公募支援業務を委託し、効率的な事業推進を行う。										
目指す成果（期待される効果）	民間活力の導入による新たなスポーツ拠点を整備することにより、資産の有効活用が図れるとともに、拠点整備によるスポーツ振興や、プールを活用した新たな水泳指導の活用を進めることによる教育環境の維持・向上を図る。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	市の求める事項を網羅した要項・要求水準等を整備し、適切な跡地活用事業者の選定を行う。										平成30年3月	
平成29年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	8,640 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			8,640		
事業費積算内容	勤労青少年ホーム跡地活用支援業務委託料 8,640千円											
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	実施方針公表		事業者募集・質問回答					選定期間				
	<input type="checkbox"/> 選定委員会① <input type="checkbox"/> 選定委員会②							<input type="checkbox"/> 選定委員会③～⑤		契約交渉		
											契約締結	
予算書及び予算説明書該当ページ	229ページ											

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 28 年度	総事業費	6,437千円			
これまでの 主な取組 と成果	<p>「公共施設総合管理計画」において、施設の総量圧縮により生じた未利用資産については、資産の売却や貸付などの方法について検討するとし、勤労青少年ホームについては、機能移転等を行い、施設の跡地活用を行うとした。</p> <p>また、高浜市内の小中学校が利用できる屋内プール等を整備することで、市の財政負担を節減し、教育環境の維持・向上を図り、高浜小学校の建替えを機に、今後は学校にプールを設置するのではなく、専門の指導員による効果的な指導を受けるなど、民間のプールを活用した、新たな水泳指導のあり方の検討を進めてきた。</p>					
平成28年度 (予算)	取組内容	民間事業者への調査の結果を踏まえ、事業実施方法の検討を行い、事業実施に係る基本方針を作成を行った。また、来年度以降の事業者募集に向けた書類作成等の準備を行った。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
	6,437 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,473			3,964
主な 経費	勤労青少年ホーム跡地活用検討業務委託料 6,437千円					

主要・新規事業等

事業名等	文化財保護事業（市誌編さん業務委託等）【継続】													
担当グループ	こども未来部文化スポーツグループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(3) 人と学びの輪を広げ、まちのチカラを育みます					
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	05社会教育費	目	06文化財保護費	事業名				01文化財保護事業	
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<p>「高浜市誌」が発行されてから約40年が経過し、この間、市の状況は大きく変化してきた。しかし、まちのあゆみを知ることができる貴重な資料の保存や、人々の中にある記憶を記録にとどめる作業は不十分であり、市民の共有財産である資料等の散逸・消失を防ぐことが大きな課題となっている。歴史を途切れさせることなく後世へ伝え、今を生きる私たち、そして将来のまちづくりに活かせるようにしていくことが重要である。</p> <p>現在行っている「タカハマ！まるごと宝箱」事業により、地域の歴史や文化を積極的に調査しようという人材の発掘も進み、将来に語り継いでいこうという機運が高まってきている。</p>												
	目的（何のために）	<p>まちのあゆみを知ることができる有形・無形の貴重な資料等を保存し、後世へ伝えるため。まちの歴史や人々のまちへの想い・記憶を知ることにより、まちへの愛着・誇りを高め、現在・将来のまちづくりに活かしていくため。</p>												
	対象（誰・何を対象に）	市民												
	事業内容（手段、手法など）	<p>市民と行政が協働で、高浜の歴史・伝統・産業・文化等について資料収集や調査を行う。幅広い年代が活用できるよう、わかりやすさを意識し、従来の「町誌」「市誌」「市誌資料」に収められていない市制施行以降のあゆみを重点的にまとめる。</p> <p>また、調査方法として、写真や文献といった資料を集めるだけではなく、「聞き書き」の手法を取り入れ、今を生きる人たちの記憶を記録化する取組みを進める。</p>												
目指す成果（期待される効果）	<p>まちのあゆみを知ることができる各種資料や、人々の中にあるまちの記憶の散逸・消失を防ぎ、歴史を途切れなく記録することができる。今を生きる市民や将来の市民に受け継がれ、まちづくりに役立てることができる。</p> <p>資料の掘り起こしや編集・普及活動を市民とともに行うことにより、まちづくりの原動力である「たかはま大好き」「住んでいるまちをより良くしたい」の想いを高めることができる。</p>													
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）			
	新しい市誌『高浜市のあゆみ』を発行する。										平成32年12月			
平成29年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）										
	14,698 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			14,698			
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> 市誌編さん委員会委員報酬 105千円 賃金 2,078千円 報償費 8,721千円 費用弁償 3千円 通信運搬費 21千円 市誌編さん業務委託料 3,770千円 													
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	委託契約事務		編さん委員会			編さん委員会			編さん委員会			編さん委員会		
	編集委員会（年3回程度開催）・専門部会（随時）													
	収録内容抽出				部会ごとの資料調査・執筆									
	資料整理													
	中間報告													
編さん過程に関する情報発信・市民への協力呼びかけ														
予算書及び予算説明書該当ページ	231ページ													

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 28 年度		総事業費	904千円		
これまでの主な取組と成果	<p>1年目となる今年度は「基本方針の策定」「市誌編さん委員会の編成・開催」「編集委員会の編成」「編さん内容検討」に重点を置き、来年度から本格的に始まる調査・執筆活動に向けて、体制づくりといった準備を進めることができた。</p>					
平成28年度(予算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針の策定 ・市誌編さん委員会の編成・開催 ・編集委員会の編成 ・編さん内容検討 ・様々な機会を通して、市誌編さん事業がスタートしたことを市民に周知し、資料の掘り起し・調査・執筆など、多様な協力の呼びかけを行った。 				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
	904 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・市誌編さん委員会委員報酬 174千円 ・費用弁償 17千円 ・市誌編さん業務委託料 713千円 				

資料等(位置図等)

先人たちのあゆみや歩みへの思いを語り、未来へと伝えていく

市誌編さんのあゆみ

昭和51年5月
「286号」
昭和51年5月
「297号」
昭和57年
「342号」
平成元年
「387号」
平成28年11月
「427号」
平成29年
「437号」
平成31年
「447号」
平成33年
「457号」

市誌編さん委員会のウェブサイト

委員長 菅野 誠一
副委員長 菅野 誠一
編集委員 菅野 誠一
編集委員 菅野 誠一

編集委員 菅野 誠一
編集委員 菅野 誠一

◆まちの情報を募集しています!!◆

古い本 持っています! → 昔の地元の風景や行事を写した写真ありますか?

古い日記が 出てきました! → 皆さんの思い出はどんなふうに変わって来たのかな?

写真集や、絵巻本が好き! → 昔の出来事について教えてください!

高橋の産物について教えてください!

詳しくは、下記問合せ先まで!

問合せ先 国文化スポーツグループ ☎52-1111 (伊藤531)

先人たちのあゆみや歩みへの思いを語り、未来へと伝えていく

集特

市誌編さん事業がスタート!

「国史刊行 第二巻」の編さんから約40年、今年度から市誌編さん事業がスタート。昨年11月には「市誌編さん委員会」が発足し、編さんの一歩を踏み出しました。

この取り組みのあらいなどを、編集委員や市誌編さん委員の皆さんに聞きました!

◆どうして新しい市誌を作る必要があるの?

昭和51年(1976年)に国史刊行が開始されてから約40年が経過。この際、土地整理推進事業などに伴う地域化の進行、人口の大幅な増加、運動の盛況や福祉の進展、市況が主体と変わってきたこと、市の現状が大きく変化した、新たな歴史が積み重ねられてきました。しかし、まちのあゆみを伝えることができる貴重な資料の保存や、人々のなかにある記憶を記録にとどめる作業は十分に行われていないと見えて、市民の理解を得る資料の調査・発掘活動は大きな課題となっていました。

これまでも多くの人々の関心を集めて、市の歴史・風土の資料を調査して整理し、展示会を開催したり、写真集を出版したり、そして市民のあゆみや歩みへの思いを語り、未来へと伝えていくことを目的として、新たな市誌の編さんが始まりました。

◆どのような方法で編さんするの?

「市民と共につくっていく」コンセプトに、1人1人の暮らしや、市民生活・産業などに関する思いや思いを語り、未来へと伝えていくことを目的としてきた取り組みについてお話しを伺いました。

①「市民生活」(昭和51年(1976年)～昭和60年(1985年))
②「市の発展」(昭和61年(1986年)～昭和70年(1995年))
③「市民生活」(昭和71年(1996年)～昭和80年(2005年))

市民生活のあゆみや歩み、近頃の様子、子どもから高齢者まで、幅広い年代の市民が読んでみたい! 「読んでみたい」と思えば、写真や図案などのビジュアルも活用することも、わかりやすく、読みやすい表現を工夫することも、資料上での関係性を整理して、編さん作業を進めます。

④「市民生活」(昭和81年(2006年)～昭和90年(2015年))
⑤「市の発展」(昭和91年(2016年)～昭和100年(2025年))

市民生活のあゆみや歩み、近頃の様子、子どもから高齢者まで、幅広い年代の市民が読んでみたい! 「読んでみたい」と思えば、写真や図案などのビジュアルも活用することも、わかりやすく、読みやすい表現を工夫することも、資料上での関係性を整理して、編さん作業を進めます。

▲広報たかはま H29.1.1号より

主要・新規事業等

事業名等	生涯スポーツ推進事業 (高浜芳川緑地多目的広場管理運営委託等) 【新規】													
担当グループ	こども未来部文化スポーツグループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(3) 人と学びの輪を広げ、まちの子カラを育みます					
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	06保健体育費	目	02生涯スポーツ費	事業名				01生涯スポーツ推進事業	
アクションプラン	■該当する □該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	近年、少年野球専用グラウンドの廃止や企業にお借りしていたグラウンドが利用できなくなるなど、野球やサッカーのスポーツグラウンドが不足しており、速やかに環境を整える必要がある。												
	目的(何のために)	スポーツに対する市民ニーズに応え、スポーツを通じたコミュニティの形成や青少年の健全育成を推進するため。												
	対象(誰・何を対象に)	市民												
	事業内容(手段、手法など)	<p>《実施内容》7月までに高浜芳川緑地多目的広場の供用開始に向け、備品、管理体制の整備を行う。</p> <p>《手段・手法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球、サッカーなどにも活用できるよう必要な備品を購入、設置するとともに、適切な事業者・団体に委託し施設管理を行うことで、市民が安心・安全に利用できる施設運営を推進する。 												
目指す成果(期待される効果)	野球やサッカーなどのスポーツ推進、青少年の健全育成や市民の健康増進が図られる。													
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)			
	必要な備品等も含め整備を行い、多目的広場の供用を開始する。										平成29年7月			
平成29年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)										
	4,810千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	512				4,298	
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 194千円 ・高浜芳川緑地多目的広場管理業務委託料 699千円 ・高浜芳川緑地多目的広場備品購入費 2,642千円 ・水道加入者分担金 1,275千円 <p>※高浜芳川緑地アクセス道路整備工事費 23,000千円【都市整備グループ予算計上】</p>													
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール				準備(見積り合わせ等)										
				備品購入										
				・管理業務委託他										
予算書及び予算説明書該当ページ	233・235ページ													

主要・新規事業等

事業名等	生活支援体制整備事業（生活支援体制整備事業委託）【新規】											
担当グループ	福祉部福祉まるごと相談グループ											
総合計画区分	基本目標	Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう					個別目標	(11) 一人ひとりの元氣と 健康づくりを応援します				
予算区分	会計	介護保険特別会計			款	04地域支援事業費		項	03包括的支援事業・任意事業費		目	06生活支援体制整備事業費
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険法が改正され、市町村が取り組む地域支援事業が多様化・充実された。生活支援における地域住民の主体的活動を応援する仕組みが打ち出され、すべての市町村で、平成30年度までに「生活支援コーディネーター」と「協議体」の設置が求められている。 ・一億総活躍プランにおいて、高齢者、障がい者、子どもなどすべての人が、一人ひとりの暮らしと生きがいを共に創り、高め合う社会（地域共生社会）の実現が打ち出された。 										
	目的（何のために）	誰もが安心して地域に住み続けることが出来るよう、地域の支え合い体制を整備し、多様な生活支援サービスを提供するため。										
	対象（誰・何を対象に）	主に65歳以上の高齢者										
	事業内容（手段、手法など）	1. 生活支援コーディネーターの配置 高齢者等の生活支援サービス等の充実に向けて、生活支援サービスの担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う者（生活支援コーディネーター）を配置する。 【時期】平成29年4月 【場所】いきいき広場 【人数】1名 2. 協議体の設置 各小学校区に定期的な情報共有及び連携の場（協議体）を設置する。 【構成メンバー（予定）】生活支援コーディネーター、地域包括支援センター、社会福祉協議会、町内会、まちづくり協議会、民生児童委員協議会、ボランティア、NPOなど										
目指す成果（期待される効果）	各小学校区における高齢者の支え合いの体制が充実・強化されるとともに、地域全体で多様な主体による生活支援サービスが提供されている。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	生活支援コーディネーターの配置 1名 協議体の設置 5か所（各小学校区）										平成29年9月	
平成29年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	8,000 千円		国庫支出金	3,120	県支出金	1,560	地方債		その他		一般財源	3,320
事業費積算内容	生活支援体制整備事業委託料 8,000千円											
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業実施スケジュール	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	★生活支援コーディネーターの配置 地域資源・地域課題の把握			各小学校区に協議体を設置								
				★生活支援サービス担い手養成講座			★生活支援サービス担い手養成講座					
							サービス開発（協議体設置後、随時）			→		
予算書及び予算説明書該当ページ	389ページ											